

令和3年度 第1回北海道大学大学院経済学院  
会計専門職大学院教育課程連携協議会-

日時 : 令和4年2月21日(月) 16時00分~17時30分

場所 : オンライン(Webex会議)

参加者 : 籾本 智之(小樽商科大学大学院商学研究科 教授)  
富樫 正浩(日本公認会計士協会北海道 常任理事)  
橋本 正太(キャリアバンク株式会社 常務取締役)  
三浦 淳一(五稜化薬株式会社 取締役 CFO)  
木谷 秋乃(有限責任あずさ監査法人札幌事務所 アシスタントマネージャー)  
米山 祐司(北海道大学大学院経済学院専門職大学院長・  
大学院経済学研究院 教授)  
久保 淳司(北海道大学大学院経済学院専門職大学院長代理・  
大学院経済学研究院 教授)  
春日部光紀(北海道大学大学院経済学院 准教授)  
岡野 泰樹(北海道大学大学院経済学院 准教授)

議題 : 1. 北海道大学大学院経済学院会計情報専攻の現状と方針について  
2. その他

<議事>

米山大学院長から、開会の挨拶の後、本会の説明と参加者の紹介があった。

久保大学院長代理から、資料を基にディプロマポリシー、アセスメントポリシー及びアセスメントチェックリストについて説明があった。併せて、成績評価、各種アンケートの結果や講演等の外部連携の実績について説明があった。今後の方針については、教員の入れ替わりが激しい現状で教育を維持している方法として、経済学部・経済学院あるいは他学部・他学院と連携して授業科目を提供することや、外部組織とのより密接な連携強化可能性の模索、修了生のコミュニティを生かした現役生への教育機会の提供等を検討している旨、説明があった。

委員からは、専門学校とは違う会計専門職大学院の強みを生かした教育を提供しアピールしていくことの必要性や、様々な形で学生を確保できる働きかけを検討していくことが重要であるという趣旨の意見があった。

米山大学院長から、修了生のコミュニティを積極的に活用できるような環境を構築していく等、今回頂いた意見を基に今後の専門職大学院での教育を改めて検討していく旨の発言があり、閉会された。